

世田谷区立桜丘中学校 音楽科 年間指導計画

中学生の音楽1 (教育芸術社)

年間授業時数 45

学年 1学年

学級 A～F組

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想と音楽の構造などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 ○音楽表現を創育工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことが出来るようとする。 ○主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
使用教科書、副教材など	「中学生の音楽1」(教育芸術社) 「中学生の器楽」(教育芸術社) 「Joyful songs」(新学社)

2. 学習指導計画及び評価方法

学期	月	題材タイトル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					知識・技能 ○重点	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度 .粘り強い態度で、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
1	4	「校歌」曲想を感じ取って歌おう 音符・休符を理解して演奏しよう	<ul style="list-style-type: none"> ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 ●音楽を形作っている要素を理解する。 ●音素材の特徴及び音楽の構成上の特徴について理解するとと 	<p>「校歌」の歌唱</p> <p>音部記号・音符や休符の種類の理解</p> <p>ボディーカッショング</p>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発育、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら伴奏に合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p>音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏す</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>音符・休符によるリズムやボディーカッショングによる様々な音色に关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の</p>

		もに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。		[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○校歌歌詞 ○音符・休符の名前	るかについて思いや意図をもっている。	学習活動に取り組もうとしている。
5・6	「春」 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう 「君をのせて」	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聞く。 ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	鑑賞「春」を通して、鑑賞文の書き方や協奏曲についての理解を深める。作曲者や時代背景、当時の楽器を知る。 混声3部合唱に慣れること。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○アントニオ・ヴィヴァルディ ○ソネット ○リトルネッロ形式 [知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 ○混声3部合唱	音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
7	リコーダー「虹の彼方に」曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	「虹の彼方に」実技テスト	[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら伴奏に合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 [知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
2	「エーデルワイス」英語歌唱 曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	サウンドオブミュージックを鑑賞し、その中で用いられるエーデルワイスに触れる。英語歌唱	[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○4分の3拍子 ○moderato	音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏す	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

					るかについて思いや意図をもつたり、歌っている。	
10	「赤とんぼ」日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱（共通教材）「赤とんぼ」を通して「心の歌」に触れ我が国の音楽文化に親しみを持ち、愛着を持って歌う。 実技テストの実施。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○4分の3拍子 ○山田耕筰 ○三木露風	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11	「魔王」曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聞く。	鑑賞「魔王」の曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聞く。 ドイツ語歌唱と日本語歌唱の違いを考える。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○フランツ・ペーター・シューベルト ○歌曲 ○戯曲 ○ドイツ語 ○3連符	音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12	箏曲「六段の調」日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聞く。	箏曲について理解する。箏の特徴や奏法について理解する。	[知] 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ○序破急 ○八橋検校 ○平調子	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12	「自由曲」曲の構成や曲想の変化を	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する	各クラスで選択した「自由曲」を通して混声3部合唱を取り	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚し	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に

	生かして、歌唱表現を工夫しよう	とともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	組む。パート編成や指揮法を学ぶ。音取り、合唱。	使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○混声3部合唱	たことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつている。	歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
3	1・2	「合唱コンクールにむけて」曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	各クラスで選択した「自由曲」を通して混声3部合唱に取り組む。 他学年との交流や、学年間の発表を通して表現力を高める。 他クラスの演奏を聴き鑑賞の態度を育てる。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○子音・鼻濁音・母音	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	3	卒業式にむけて、3年生への思いを込めて歌おう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 ●式典での歌唱の意義を考えながら、歌唱の活動に取り組む。	卒業式にむけて合唱に取り組む。 歌唱表現をどのように工夫するか考える。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○表現の工夫	音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】年間共通

・各題材における実技テスト・積み重ねテスト・ワークシートや振り返りシート等における記述・教員による観察等